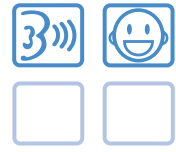


1-5

すきなもののクイズ♡



活動

すきなものをいう。

かたち



時間

せつめい編

文-01 Nです

文-02 Nがすきです

助-01 と(並列)

助-04 か(疑問)

使うことば

~さん、1~12、~番、何、だれ、すき、

はい、いいえ、そう、違う

ありがとうございました

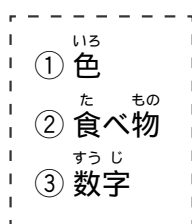
談話の技術

・会話を始める(~さん)

準備するもの

手 順

1. 黒板に母語で次のように書く。



2. 学習者は色、食べ物、数字の中で自分のすきなものを考える。

3. 4、5人のグループになり、おたがいに<モデルテキスト>(1)のようにインタビューする。数字以外のすきなものは母語で言う。

4. グループの中でインタビューが終わったら、グループの代表者は、クラス全体に<モデルテキスト>(2)のように質問する。
ほかのグループの人はだれのことか当てる。

(1) インタビュー

A : Bさん、^{いち}1ばんは ^{なん}何ですか。

B : ^{いち}1ばんは みどりです。

A : ^に2ばんは ^{なん}何ですか。

B : ^に2ばんは ドーナッツです。

A : ^{さん}3ばんは ^{なん}何ですか。

B : ^{さん}3ばんは ^{ろく}6です。

A : ありがとうございます。

(2) 質問と答え

A : みどりと ドーナッツと ^{ろく}6が すきです。 だれですか。

D : Cさんですか。

A : いいえ、Cさんでは ありません。

D : Bさんですか。

A : はい、Bさんです。

(^{かせんぶ}下線部は母語)

バリエーション

(1) インタビューの会話を下のようにする。

A : Bさんはどんな色^{いろ}がすきですか。

B : わたしはみどりがすきです。

A : どんな食べ物^{たもの}がすきですか。

B : ドーナッツがすきです。

(^{かいめいこう}2回目以降は主語を言わない。)

先生へ

・母語を使わないで練習をしたいときは、^{こくばん}黒板にいくつかの^{にほんご}ことばを日本語で書き、そこから ^{えら}好きなものを選んで答える方法がある。

例) 色 : ^{れい}赤、^{いろ}白、^{あか}黒、^{しろ}緑、^{くる}青、^{みどり}黄色 (^{あお}ひらがなにして、^{きいろ}母語の訳をつける)

・質問の項目は自由に入れかえてもよい。たとえば、「^{しゆみ}趣味」を入れる。

・(2)のAの答えの言い方は「はい、そうです。」「いいえ、ちがいます。」を使ってもよい。